



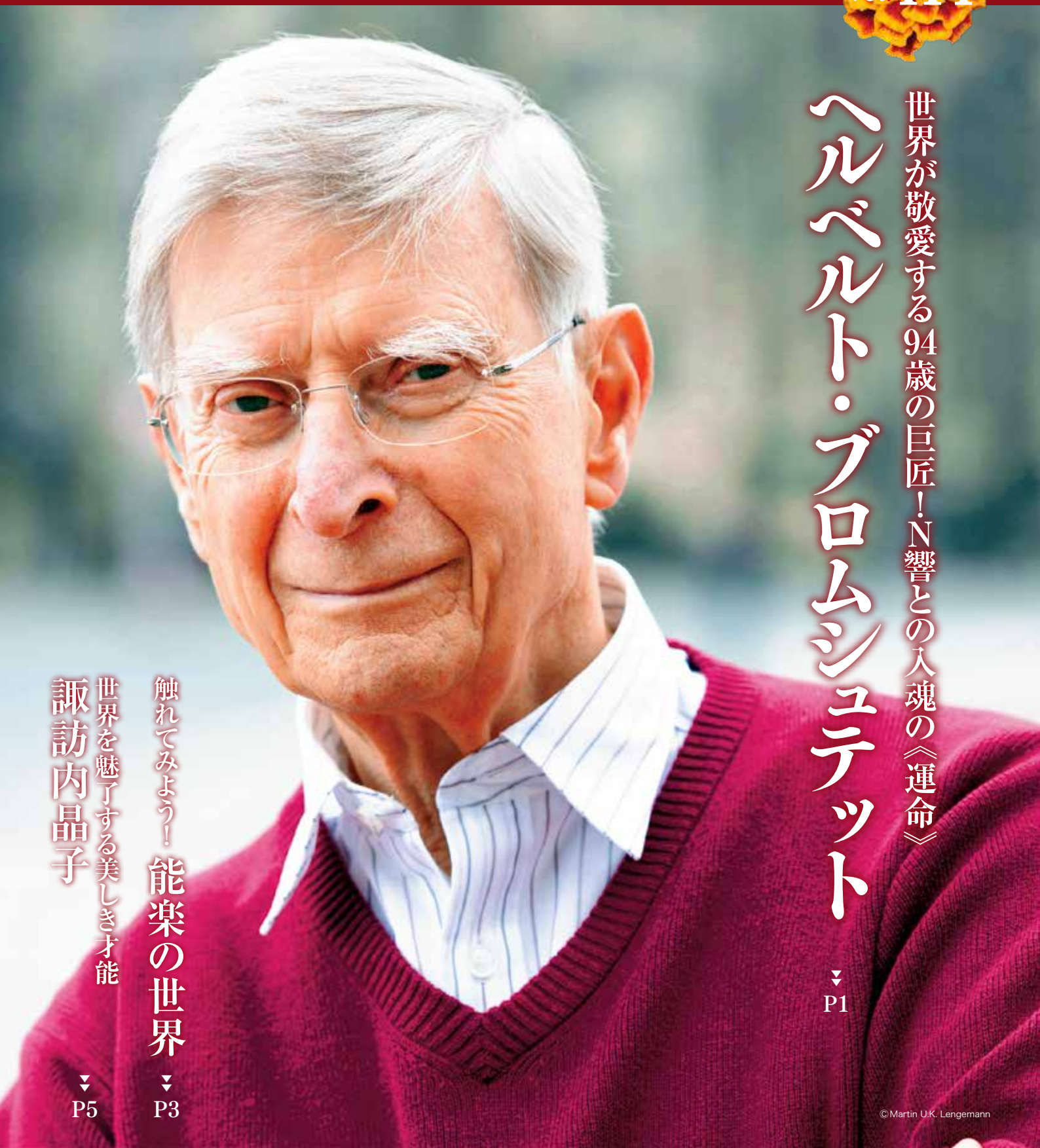
インフォ・マート

Info Mart

(自主公演のチケットのお求め・お問合せはこちらへ) 04-2998-7777 | <https://www.muse-tokorozawa.or.jp>



vol. 114



世界が敬愛する94歳の巨匠！N響との入魂の《運命》

ヘルベルト・ブロムシュテット

▼ P1

触れてみよう！能楽の世界

▼ P3

世界を魅了する美しき才能
諏訪内晶子

▼ P5

世界が敬愛する94歳の巨匠！N響との入魂の『運命』

ヘルベルト・ブロムシュテット

指揮

ドイツ音楽のスペシャリストで、ヨーロッパ、アメリカ、日本など世界中から尊敬を集める94歳の巨匠が6年ぶりに所沢ミューズに登場する。桂冠名誉指揮者の称号を持つN響との共演による入魂のベートーヴェンに期待が高まる。



Herbert Blomstedt

©Martin U.K. Lengemann

巨匠ブロムシュテットの2021年

1927年生まれ、今年94歳を迎える世界的な指揮者ブロムシュテット。世界中のあらゆる一流オーケストラから尊敬を集め、出演依頼が殺到する巨匠の意欲的な活動は、2021年もとどまるところを知らない。新型コロナウイルスの影響により、多くの公演がキャンセルされたものの、6月には世界最高峰のベルリン・フィルを指揮、その後チューリッヒ・トーンハレ管、クリーブランド管、ボストン響といった一流オーケストラと共演。8月末にはヨーロッパ最大の音楽祭であるザルツブルク音楽祭でウィーン・フィルと共演が予定されている。その後すぐにウィーン・フィルとヨーロッパの7都市をめぐる大型ツアー（ルツェルン音楽祭を含む）が待っており、このツアーを終えると愛するN響との久々の共演（10月定期）のために来日するという、年齢をまったく感じさせない充実のスケジュールには驚くばかりだ！

ウィーン・フィルとの邂逅

ベルリン・フィルとは1976年以来、数え切れないほど（2011年以降は毎年！）共演を重ねるブロムシュテットだが、ウィーン・フィルとは実はずっと疎遠だった。ドイツ音楽の最高峰の指揮者でありながらウィーン・フィルと共演がないのは不思議な感じもするが、理由は簡単。ブロムシュテットのリハーサルが長いから！ウィーン・フィルの団員は、多くのコン

サート、国立歌劇場でのオペラ上演に加え、室内楽や後進の指導で多忙を極め、ゆえにリハーサル嫌いでも知られる。一方、ブロムシュテットはありきたりな音楽作りや情性を絶対に許さず、何度演奏した曲であろうと時間ぎりぎりまで表現を磨き抜いている。ところが、2011年にアーノンクルの降板により初共演を果たすと、ウィーン・フィルはブロムシュテットの音楽性にすっかり魅了され、当時の楽団長によれば「恋に落ちた」という。以来、定期演奏会やザルツブルク音楽祭など重要なシリーズでたびたび共演を果たし、ドイツ音楽における最高のコンビとして世界中から絶賛を浴び続けている。

N響——40年間の歩み

ブロムシュテットとN響との初共演は1981年。当時のN響は、すでにカラヤンやストラヴィンスキー、サヴァリッシュ、カイルベルトなどの大物と共演を重ねていたが、楽団員はブロムシュテットの誠実な音楽性と探求心にすぐに共鳴。以来40年にわたって共演を重ね、演奏史に刻まれる忘れがたい名演を繰り広げてきた。その多くはテレビ番組「N響アワー」でも放送されたのでご記憶のファンも多いだろう。N響は初共演からわずか5年後の1986年にはブロムシュテットに「名誉指揮者」の称号を、さらに2016年には「桂冠名誉指揮者」の称号を贈り、世界的な巨匠に対し最大級の尊敬と愛情を示した。シベリウスやニールセン、ス

テンハンマルといった北欧の音楽に限りない愛情を注ぐブロムシュテットではあるが、その音楽の神髄は何といってもドイツ音楽。ベートーヴェン、シューベルト、ブラームス、ブルックナー、マーラーといった作品で、ヨーロッパの一流オーケストラも青ざめるような名演を積み重ねてきた。所沢ミューズには2015年にN響と初登場し、オール・ベートーヴェン・プログラムを披露。慈愛に満ちたヴァイオリン協奏曲（Vn. シュタインバッツハー）と、情熱と透明感が奇跡のように融合した「英雄」で絶賛を浴びた。『運命』をメインに据えた今回の所沢公演でも、深化し続ける名匠の心震わせる音楽を感じていただきたい。

N響&ブロムシュテット[指揮]《運命》

2021年10月30日(土) 13:15開場 14:00開演
アークホール **好評発売中**

料金◆全席指定 S席:¥7,500 A席:¥6,500
B席:¥5,500 P席:¥5,000

曲目◆ステンハンマル:セレナード へ長調 op.31
ベートーヴェン:交響曲第5番 八短調 op.67《運命》

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※新型コロナウイルスの感染状況により公演中止の可能性がございます。最新情報は所沢ミューズの公式ホームページでご確認ください。




ベートーヴェンの手による『運命』の自筆スコア(第1楽冒頭)



『運命』『田園』が初演された美しいアン・デア・ウィーン劇場



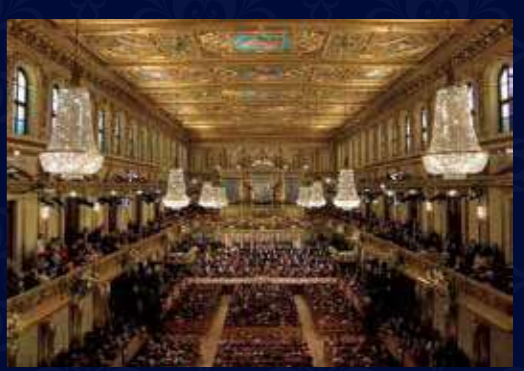
2016年にはN響から桂冠名誉指揮者の称号が贈られた(写真は同年の「第9」公演)



1983年には人気ピアニスト中村紘子と共演しモーツァルトで名演を披露



1981年のN響との初共演ではチャイコフスキー、ブラームスなどを指揮



ウィーン・フィルとは2011年に待望の初共演を果たした

幽玄の美に出会う
世界に誇る日本の舞台芸術

の世界

触れてみよう！

能楽

能は、およそ650年前の室町時代に生まれた、言わば日本版ミュージカル。音楽(囃子・歌(謡))・ダンス(舞)が一体となり物語が進行する、世界に誇る日本の舞台芸術。古くは秀吉・家康など多くの武将も能の大ファンでした。現代ではユネスコの無形文化遺産に登録され、多くの人を魅了し続けています。

「能」とは？

動かぬ「能面」に見る表現力！

能面は能の命そのもの。主に人間以外のものを演じる場合に使用します。よく無表情な人のことを「能面のような」と言いますが、舞台での能面はあらゆる表情を内包します。演者の卓越した技により、能面のほんのわずかな角度の違いで、ありとあらゆる豊かな感情が表現されるのです。

華やかな「装束」を楽しむ

能の衣装を「装束」と言います。とくに繊細で美しいのは女性の役に用いる装束で、あしらわれた草花など自然の絵柄や文様の美しさが、物語の季節やイメージを膨らませて、観客の想像力をかき立ててくれます。赤が入っていれば若い女性、なければ年配の女性など、色や襟などの取り合わせによって、性別や年齢、身分などを知ることができます。

和楽器の音色「囃子」

「囃子」で用いられる楽器は、笛(能管)・小鼓・大鼓・太鼓の4つがあり、掛け声を掛けながら演奏します。「ヨ」「ホ」「イヤ」などの掛け声もまた音楽的な要素で、品位や気合の表現の1つです。能の音楽が究めたのは、リズムの複雑さと気迫の表現。「囃子方」は決して伴奏者ではなく、主役と対等に渡り合う重要な役なのです。



「巴」 観世喜正 (写真：青木信二)



能「土蜘蛛」で使用する面。危害を加える悪い鬼の役に用いる面で、鋭い目つきで、恐ろしさを強調している。



写真：駒井社介

全体的に色が白く、端正で品位がある女の面「増」

代表的な装束、「唐織」。金・銀・色糸をふんだんに使った豪華な織物。主に女の役の上着として使う。



能「土蜘蛛」の精のような鬼神を演じる際は、「髯」「飛出」「癒見」といった鬼神面をかける。

金襴でできた「法被」と呼ばれる広袖の上衣。鬼神の場合には立涌文など、模様も力強いものが選ばれる。



写真：駒井社介

足さばきにも注目！
歩行の芸術とも言われる能。たった1歩の足の出し方で、長い旅路の後に“着いた”ことを観客に感じさせられるかどうかなど…役者の魂がこもっています。

「能」を観てみよう！ 物語を知る！

抜群の美貌を誇る「巴」の物語！

「巴」は、平家物語に基づく能の名作の1つです。巴にとって恋人であり、上司であり、幼馴染でもある木曾義仲との恋物語。共に戦場で戦った仲間でもあり、武勇に優れた巴が見せる勇敢な長刀さばきも魅力の1つ！ 本作では、巴が死後、霊として現れて様々な想いを語ります。死してなお、主君である義仲を慕い愛する、巴の一途な想いに心打たれます。ぜひ、舞台で巴の想いに触れ、その結末を見届けてください。

優美な舞台、気迫の音楽にかき立てられる想像力、名作「巴」のたぐいなき幽玄の美をご堪能ください！

能舞台の「役割」を知る！



第16回 伝統芸能普及事業 触れてみよう！ 能楽の世界

好評発売中

2021年8月22日(日)
12:15開場 13:00開演
キューブホール
料金◆全席指定 ¥3,500
◆メンバーズ特割 ¥2,500

第一部 「巴」のみどころ
装束について
お囃子について

第二部 能「巴」(シテ)遠藤喜久

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※新型コロナウイルスの感染状況により、出演者の変更や公演中止の可能性もございます。
最新情報は所沢ミュージズの公式ホームページでご確認ください。



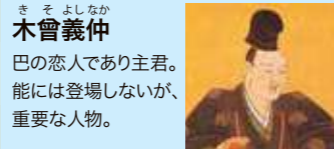
●能「巴」の登場人物

僧 [ワキ]
木曾の山奥の僧。旅の途中、粟津ヶ原の神社に立ち寄る。



写真：駒井社介

里人
粟津ヶ原の里人。神社の境内で僧と出会う。



里女 [前シテ]
僧の前に現れた女性。実は、巴の霊の仮の姿。



写真：駒井社介

ともえ 巴 [後シテ]
義仲に仕えた女武者。義仲が討ち死にするまで共に戦った。霊となって現れる。



「巴」 観世喜正 (写真：青木信二)

出会う
夢か幻か?!

出会う

戦友であり恋人

世界を魅了する美しき才能

諏訪内晶子 AKIKO SUWANAI

J.S.バッハ 無伴奏ヴァイオリン

1990年、史上最年少でチャイコフスキー・コンクール優勝を果たした諏訪内晶子が、久々に所沢ミュージズに登場する。名作バッハの無伴奏ヴァイオリンで、世界的名手が紡ぎ出す至高の響きをご堪能ください！



©TAKAKI KUMADA

チャイコフスキー 国際コンクール優勝

3歳でヴァイオリンを始めた諏訪内晶子。幼い頃から音楽的才能を開花させると、日本音楽コンクールの中学生の部で優勝を果たす。その後、日本のヴァイオリン界の礎を築いた名伯楽、江藤俊哉に師事しさらに才能に磨きをかけると、1989年に難関エリザベート王妃国際コンクールに挑戦。惜しくも優勝は逃すものの第2位の栄冠に輝いた(そのときの第1位はロシアの怪童レーピン)。翌1990年には、世界最高峰のチャイコフスキー国際コンクールに出場し、史上最年少の18歳にして審査委員満場一致の優勝を成し遂げる。世界中が諏訪内晶子の動向に注目し日本でも大フィーバーを巻き起こすが、音楽家としての成長を求め日本での活動を休止。ジュリアード音楽院、ベルリン芸術大学などでさらなる研鑽を積む道を選んだ。

世界を魅了する 輝かしいキャリア

約5年の研鑽期間を経て、1995年にブレヴィン指揮N響との共演で活動を再開させると、諏訪内晶子の知性溢れるみずみずしい音楽性は、瞬く間に世界を魅了する。これまでに、小澤征爾指揮ボストン響、デュトワ指揮ベルリン・フィル、サヴァリッシュ指揮フィラデルフィア管、ゲルギエフ指揮マリインスキー

次代へ伝える想い—— 〈国際音楽祭NIPPON〉

劇場管などと共演を重ねている。また、BBCプロムスをはじめ、ルツェルン音楽祭、ベルリン芸術週間など名だたる音楽祭にも数え切れないほど招かれていく。1999年には、デュトワ指揮モントリオール響と所沢ミュージズにも登場し、美しい抒情性と滴るような美音で忘れがたい名演奏を披露した。古典的な名作のみならず、現代音楽においても諏訪内晶子への作曲家の信頼は絶大で、これまでにサロネン・ヴァイオリン協奏曲の日本初演、三善晃「弦の星たち」の世界初演、ベンデレッキ・ヴァイオリン協奏曲第2番「メタモルフォーゼン」の日本初演など数多くの作品の誕生に携わってきた。

長年にわたり世界の第一線で活躍してきた諏訪内晶子が温め続けた1つの想い「演奏だけでなく、何か世の中に恩返しできないか」。それを形にしたのが2012年に誕生した「国際音楽祭NIPPON」だ。自ら芸術監督を務める音楽祭のプログラムは、「同世代の仲間との共演」「古典から現代までの多彩な名曲」「新作の委嘱」「0歳からのコンサート、マスタークラスなど次世代の育成」「震災復興のためのチャリティー」と多岐にわたる。そこには、共に歩んだ仲間への感謝、新作を通じた次の世代への発信、若い世代に音楽の素晴らしさを

究極の響きを求めて 無伴奏リサイタル

伝えたい、という諏訪内の熱い想いが凝縮されている。2020年の国際音楽祭NIPPONは、新型コロナウイルスの影響により幾度も中止や変更を迫られたが、「穏やかな日々が1日も早く戻ることを祈りつつ、今できることを1つずつ」と語る諏訪内晶子の見つめる未来は微塵も揺るがない。

コロナ禍におけるステイホーム期間中、諏訪内晶子が特に力を入れて取り組んだのがJ.S.バッハをはじめとする無伴奏作品である。とりわけJ.S.バッハの無伴奏ヴァイオリンは、テレマン、パガニーニ、イザイ、レーガー、バルトークと数ある無伴奏ヴァイオリン作品のなかで、抜きん出た金字塔といえるべき傑作だ。J.S.バッハのあらゆる音楽語法と精緻な対位法が惜しげもなく注ぎ込まれており、ヴァイオリニストには高い演奏技巧と集中力が求められる。諏訪内自身も「バッハの作品は音楽にとどまらず、数学や哲学などいろいろな要素が詰まっている」とその奥深い魅力に想いを寄せる。J.S.バッハを取り上げる所沢ミュージズでの無伴奏リサイタルでは、20年以上にわたり世界を魅了し続けた希代の名手、諏訪内晶子の「いま」を映し出す究極の響きと出会うことができるだろう！

諏訪内晶子 無伴奏ヴァイオリン

10月19日(火) 13:15開場 14:00開演
マーキーホール
料金◆全席指定 ¥5,000
◆メンバーズ特割 ¥4,000
曲目◆ J.S.バッハ
無伴奏ヴァイオリン・ソナタ
第1番 ト短調BWV1001
無伴奏ヴァイオリン・パルティータ
第2番 ニ短調BWV1004 ほか
7/11 メンバーズ 7/18 一般発売

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※新型コロナウイルスの感染状況により公演中止の可能性がございます。最新情報は所沢ミュージズの公式ホームページでご確認ください。



フランク、R.シュトラウスを収録した最新盤みずみずしい音楽性で絶賛を博した



バッハの手による美しい自筆楽譜無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第1番



若きバッハの肖像。ケーテンの時代には多くの器楽曲の傑作を生んだ



指揮者・作曲家として世界をリードするサロネンも諏訪内晶子に厚い信頼を寄せ



魔術師とも評されるロシアの名指揮者ゲルギエフ諏訪内晶子とはロンドン交響楽団と共演した



諏訪内晶子と数々の名演を繰り広げた名指揮者デュトワ1999年には所沢ミュージズでも共演し名演奏を聴かせた

ステージレポート Stage Report

4月23日
～6月5日

2021
4/23 (金)

第106回所沢寄席 よったり寄ったり競演会 「四派競演」

〈マーキーホール〉
出演／瀧川鯉昇、古今亭菊之丞、立川生志、三遊亭兼好
江戸落語界四派競演の充実のプログラム。三遊亭兼好「湯屋番」、古今亭菊之丞「火焔太鼓」、立川生志「青菜」、そして1度聴いたら病みつき、飄々とした語り口の瀧川鯉昇による「茶の湯」。実力派揃いで4者色とりどりのバラエティー豊かな話芸に、客席はたくさんのお笑い声に包まれました！



所沢寄席

5/15 (土) 劇団四季 The Bridge ～歌の架け橋～

〈マーキーホール〉



劇団四季

22 (土) よしもとお笑いライブ～笑いの百花繚乱～in所沢2021

〈アークホール〉
出演／野性爆弾、パンクブーブー、パンサー、ミルクボーイ、マヂカルラブリー、相席スタート、おかずクラブ
ニューヨーク、おばたのお兄さん



よしもとお笑いライブ

23 (日) 津軽三味線 あべや

〈マーキーホール〉
出演／阿部金三郎[津軽三味線]
阿部銀三郎[津軽三味線]
根本麻耶[唄・津軽三味線・踊り] ほか
曲目／津軽じょんがら節、津軽よされ節 ほか

日本民俗音楽界を牽引する若きトップランナーが集結した「あべや」のコンサート。三味線・尺八・唄・踊りなどが合わさり、華やかで魅力溢れるステージと、軽快なトークで会場を沸かせました。



津軽三味線 あべや

29 (土) NBA バレエ団「ドン・キホーテ」

〈マーキーホール〉
華やかな衣装を身につけたダンサーが繰り広げる踊りは迫力満点で圧巻でした。昼・夜公演ともに完売御礼！いずれの公演も終演後大興奮の客席からは拍手が鳴りやまず、何度も何度もカーテンコールが繰り返されました。次回の「NBA バレエ団」もどうぞお楽しみに！！



NBA バレエ団

6/5 (土) 平田耕治[バンドネオン] ～魅惑のタンゴの響き～

〈新所沢東まちづくりセンター〉
出演／永易理恵[電子ピアノ]
曲目／ピアソラ:リベルタンゴ
平田耕治:タンゴロイドへのプレリュード ほか

写真撮影(市民カメラマン)/由井一雄(4/23)、中村仁(5/15)、佐藤清一郎(5/22)、津田資雄(5/23)、三平資郎(5/29)

編集後記

この間、職場の先輩に教えていただいた所沢市にあるベーグル屋さんに行きました。オシャレな内装のお店に絶品のベーグル！すぐにお気に入りのお店になりました。私は今年度所沢市民に仲間入りしたばかりなので、所沢の素敵なお店をたくさん見つけていけたらと思います。(O)

チケットのお問合せは……ミュージズチケットカウンター

04-2998-7777

●窓口・電話予約10:00～18:00 ※休館日を除く

●インターネット予約

所沢ミュージズ

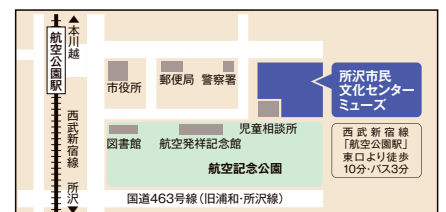
検索



クラシック・ポップラー・演劇・寄席など多彩で魅力溢れる公演を開催しております！

詳細はミュージズホームページでご確認ください。

<https://www.muse-tokorozawa.or.jp>



※公演情報は2021年6月28日現在のものです。曲目・出演者の変更やチケットが売切れとなる場合がございますので、ご了承ください。

今回のインフォ・マートは2021年9月15日発行予定です。どうぞお楽しみに。